

平成27年度の各会計 決算を徹底チェック!

町民のくらしに どう生かされた?

細かくチェック
しました!

私たちの税金
どう使ったの?



決算特別委員会

Q & A

このほか長い時間をかけて審査を行いました。
質疑の一部をお伝えします。

Q 老朽化した町営住宅への対応は。

A 改修可能な町営住宅について長寿命化計画に基づき、補修・改修を行った。当面新たな町営住宅の建設については考えていない。

Q 生活困窮世帯の児童・生徒に対する就学援助の状況は。

A 要保護や準要保護世帯の保護者に対して、義務教育の就学に必要な経費(学用品・給食費・修学旅行費など)を援助している。申請に基づき収入などを調査し、民生委員さんの状況確認を経て支給している。対象生徒は78名である。

Q 健康増進、各種検診の実施状況と成果は。

A 腹部超音波検診・肺がん検診・胃がん検診・大腸がん検診・乳腺甲状腺がん検診・子宮がん検診などを行った。集団検診の受診率は16～34%であり、十数人に胃がんなどが見つかった。今後も受診率向上に努めたい。

Q 災害時におけるFMたまむらの活用と今後の取り組みは。

A 平成27年度は活用する機会がなかったが、災害時における放送に関する協議を行い、平成28年度から協定を結んだ。Jアラート、携帯電話等の伝達手段を補うものであり、今後、効果的な運用方法を考えていきたい。



Q 高崎玉村スマートIC周辺開発に関する調査の内容と成果は。

A 社会情勢の変化もあり、事業の場所、利便性、優先度など原点に立ち返り調査を行っており、今後方向性が出れば報告していく。町・県の上位計画からも産業系を想定している。

Q 道の駅玉村宿の屋根改修工事として補正予算がついたが、改修工事の内容は。

A 当初は展望台に屋根を設置する計画だったが、構造・防犯面から、踊り場に勾配をつけ排水溝を設置する雨水対策工事を実施した。また、階段内部の壁を外壁材に変更した。展望台はイベントの際など限定的に活用していく。



Q ぽかぽか子育て応援事業の成果は。

A 国の地域創生交付金事業を活用して第1保育所にある子育て支援センターに床暖房を設置した。保護者や子どもたちに大好評で、床暖房設置後の利用者は前年同期に比べ798名増加(22.5%増)した。



Q 乗合タクシー(たまりん)の現状をどう考えるか。

A 町内4コース、伊勢崎、高崎直行便もあるが、年間利用者が1万5934人とまだまだ少ない。さまざまな意見を取り入れた地域公共交通網形成計画をつくり改善したい。

Q ふるさと寄附金の現状は。

A 県内他市町村から103件、県外から948件の計1051件で、寄附金総額は2314万円。ここから謝礼等735万円と他市町村への寄附による税控除額1022万円を引いた557万円がプラスとなった。今後も寄附金が増えるよう努力する。